

1. 事業の位置付け

事務事業名	駐輪場整備促進事業		
事業担当	市民部 暮らし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	自転車利用者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
平塚駅西口（東地）駐輪場を確保することにより、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。		駅周辺の放置自転車対策と自転車利用者の利便性の向上を図るため、駅西口（東地）への駐輪場整備を促進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名	庁内調整会議等開催回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	8	6	2		
	実績	9	8	6		
成果指標①	指標名	駐輪場整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	H19: 庁内調整会議等28%、H20: 調整会議等・整備66%、H21: 庁内調整会議等6%				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	28	94	100		
	実績	28	50	90		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	駐輪場整備促進事業 駐輪場の確保により、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。	駅周辺の放置自転車対策と自転車・バイク利用者の利便性の向上を図ります。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	駐輪場整備促進事業 駐輪場の確保により、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。	駅周辺の景観及び歩行者の安全を確保することができます。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	駐輪場整備促進事業 駐輪場の確保により、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。	自転車駐車場の整備により、駅周辺の放置自転車対策と自転車・バイク利用者の利便性向上を図ることができます。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	駐輪場整備促進事業 駐輪場の確保により、駅周辺の放置自転車が解消され、自転車利用者の利便性が向上しています。	効率的な事業手法を検討、選択し整備していく必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		関係各課との協議	東地駐輪場の整備促進	良好な駅前環境
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00
内訳	職員 (人)	1.10	1.10	1.10
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		9,231	9,231	9,192
フルコスト (A+B)		9,231	9,231	9,192

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	③: 遅れている 西口東地自転車駐車場整備に着手することができなかったため	①: 予定どおり -
	主な取組と成果	駐輪場整備に向けて、庁内会議を重ねたことにより、設計委託料の計上ができた。	平塚駅周辺放置自転車対策及び自転車駐車場の再整備計画を作成し、自転車駐車場整備後の放置自転車対策及び自転車駐車場の整備・有料化の予定を提示しました。	「平塚駅周辺の駐輪対策について」を策定し、駅西口東地には、駅西口周辺の状況変化にフレキシブルな対応ができる簡易な建築物による2層3段の有料自転車・バイク駐車場を整備することとしました。なお、整備にあたっては、(財)平塚市文化スポーツまちづくり振興財団に用地を貸与し、同財団が施設を建設し、利用料金により維持管理及び運営を行い、合わせて建設資金を回収する方式により行うこととしました。
検証結果		A: 成果があがった	C: 十分に成果をあげることができなかった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		駅周辺の放置自転車が、景観上、防災上・防犯上問題になっている。また、通行の障害になっているため、早急の整備が必要である。	駅周辺の放置自転車が、景観上、防災上・防犯上問題になっている。また、通行の障害になっているため、早急の整備が必要です。	「平塚駅周辺の駐輪対策について」に則り、今後、駅西口東地以外の自転車等駐車場の整備など駅周辺の駐輪対策を進め、早期に放置自転車解消を図る必要があります。

1. 事業の位置付け

事務事業名	放置自転車等対策事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
駅周辺の自転車放置禁止区域において、自転車の整理、撤去を行うことにより、安全な歩行空間が確保されています。		自転車などの放置防止のため、放置自転車クリーンキャンペーンなどの啓発活動と放置自転車などの整理や撤去を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	放置自転車防止キャンペーン開催回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	4	4	4		
	実績	5	5	4		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	放置自転車数			単位	台
	説明・算定式	中心市街地、1日当たり				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	1700	1700	1700		
	実績	1897	1831	1502		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「平塚市自転車の放置防止に関する条例」に基づき指定している自転車放置禁止区域及び周辺においては、歩行空間の確保や景観向上の観点からも自転車整理、撤去が必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境の向上を図るため、強化・継続して事業を実施することは有効性が高いものと考えます。また継続して実施することが有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	駅周辺の生活環境整備向上のためには欠かせませんが、さらに、整理・撤去の強化が必要です。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	保管場所を現在より広く、駅に近い場所に確保する必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		放置自転車の撤去、駐輪場の自転車等の整理、キャンペーン実施	放置自転車の撤去、駐輪場の自転車等の整理、キャンペーン実施	放置自転車の整理・撤去、キャンペーン実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	46,305	45,445	47,519
事業費 (A)		46,305	45,445	47,519
執行率 (%)		98.96	97.12	101.55
内訳	職員 (人)	0.75	0.75	0.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,294	6,294	6,267
フルコスト (A+B)		52,599	51,739	53,786

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり
	遅れている理由	—	—	—
主な取組と成果		自転車放置禁止区域において、放置自転車を5,696台撤去し(うち、3,447台を引き渡し)、安全な歩行空間が確保できた。	自転車放置禁止区域において、放置自転車に対して警告・指導・撤去を350日実施し、放置自転車を5,636台撤去しました。またキャンペーン等を通して自転車利用者への適正な駐輪の周知と安全な歩行空間が確保できました。	自転車放置禁止区域において、放置自転車に対して警告・指導・撤去を359日実施し、放置自転車を5,178台撤去しました。またキャンペーン等を通して自転車利用者への適正な駐輪の周知と安全な歩行空間が確保できました。
検証結果		B: おおむね成果があがった	B: おおむね成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		自転車駐車場整備を進めるとともに、無料の自転車駐車場の有料化、放置自転車撤去の有料化を図っていく必要がある。	自転車駐車場整備を進めるとともに、無料の自転車駐車場の有料化、放置自転車撤去の有料化を図っていく必要があります。	自転車駐車場整備を進めるとともに、自転車利用マナーの向上を図り、放置自転車の撤去徹底を行っていく必要があります。

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地防犯パトロール事業		
事業担当	市民部 暮らし安全課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 警察・防犯協会・商店街等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して歩ける中心市街地になっています。		市民が安心して歩ける中心市街地にするため、警察、商店街、市が連携して防犯パトロールを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パトロール実施回数			単位	回
	説明・算定式	中心市街地をパトロールする回数				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	6	6	6		
	実績	4	12	6		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	紅谷町犯罪件数			単位	件
	説明・算定式	紅谷町で発生した犯罪件数				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	350	340	330		
	実績	372	316	265		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「夜間、怖くて中心市街地を安心して歩けない」、「防犯パトロールを強化してほしい」等の要望が市長への手紙などにより市民から寄せられています。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業の性質上、単年度のみで判断するのではなく、継続して実施していくことで、成果向上が期待できます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心市街地の治安向上には、防犯パトロールが最低限必要不可欠であり、警察・防犯協会・商店街等関係団体と連携することにより、効果的に分担して行っています。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業は取組み、啓発が中心となるので、警察・防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んで実施していくことで効率的・効果的に実施しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00
内訳	職員 (人)	0.30	0.30	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,518	2,518	2,507
フルコスト (A+B)		2,518	2,518	2,507

4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	③:遅れている 計画していたが、天候不良のため実施できなかった。	①:予定どおり -	①:予定どおり -
	主な取組と成果	中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを6回計画したところ、天候不良のため4回の実施となったが、紅谷町で発生した犯罪件数は前年度程度に抑えることができた。	中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを12回実施したところ、紅谷町で発生した刑法犯認知件数は前年度と比べ56件減少しました。	中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを6回実施したところ、紅谷町で発生した刑法犯認知件数は前年度と比べ51件減少しました。
検証結果		A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。	「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。	「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきます。